

【第5学年国語】

理由記述シートと構成メモの活用で、説得力のある意見文を書く

1 指導計画

- 1時間目 提案者の立場と資料を関係付けて読み取り、それぞれの意見に良さと問題点があることをとらえる。
- 2時間目 話し合い資料を基にして、説得力のある意見文の書き方をとらえ、構成メモを作る。
- 3時間目 立場を明確にした意見文を書き、交流する。

2 指導のポイント

この問題は資料や話し合いの様子を基にして、A案・B案のどちらかを採用して意見文を書くものである。ここでは、資料を関係付けて読み取る力や、意見の理由を明確に記述する力、問題点を理解した上で提案する力、段落を構成する力が必要となる。そこで、これらの力を付けるために、次の三つの段階を踏みながら指導に当たりたい。

1 時間目

まず、資料の読み取りを行う。話し合いのねらいを確認後、A案・B案それぞれの内容をとらえ、その提案内容が資料のどこと関連しているのかを確認する。その後、それぞれによさと問題点があることを確認し、話し合いの様子②から、発言者の話し方が「立場の表明」⇒「資料に基づく理由」となっていることを確認する。

2 時間目

読み取った資料を基にして自分の立場を決める。その後、「理由記述シート」を用いて、立場を裏付ける理由を書き出す。A案・B案のいずれにも問題点があることを認めた上で、さらに経験や予想、問題点の解決策を述べる型が説得力につながることを確認する。その後、「構成メモ」を作成する。

3 時間目

「構成メモ」を用いて意見文を書く。書き終えたら友達と読み合い、文の型や説得力を生む表現に着目して相互評価をする。効果的な意見文の書き方を確認する。

3 各時間の指導

(1) 資料を関係付けて読み取り、双方によさと問題点があることを確認する（1時間目）

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
<p>話し合いのねらいを確認する</p> <p>※ リード文から、話し合いのねらいを確認する。</p> <p>T 5年2組で話し合いをしています。話し合いの様子②では、話し合いのねらいは何ですか。</p> <p><リード文より></p> <p>・はっきりした声であいさつをする人を多くするにはどうするかです。</p> <p>アンケート結果を読み取る</p> <p>T アンケートからどんなことが分かるでしょう。</p> <p><資料1より></p> <p>・「自分からすすんであいさつ」をすることはよくできているね。</p>	<p>・ リード文を読み、話し合いのねらいを確認する。</p> <p>・ 表の見方を確認する。実態に合わせて、項目や数値の読み方を指導する。</p>

- ・ 「はっきした声であいさつ」は高学年では少ないね。
- <資料2より>
- ・ よい感想だけでなく、問題点も挙げている感想も多いね。
 - ・ めあてを達成したとは言えないかもしれないね。
- <資料3より>
- ・ あいさつ運動への意見が出されているね。
 - ・ 4つの意見が出されているね。
- <資料1、2、3より>
- ・ 資料2と資料3は関係しているものもあるね。
 - ・ 資料1の課題の解決が資料2や資料3から考えられそうだね。

話し合い資料を基に、意見の述べ方をつかむ

T 資料1～3を基にした話し合いの資料②から、話し合う人たちそれぞれの意見とその理由を読み取りましょう。

- 田中さん：資料との関連 ⇒資料3 資料2
 <A案> 経験や予想 ⇒ハンカチ・ティッシュ調べで賞状をもらってうれしかった
 問題点を補う工夫⇒ 名人カードでやる気を出す人もいる
- 小林さん：資料との関連 ⇒ なし
 <B案> 経験や予想 ⇒カードをもらえない人もでる あいさつをする気もなくなる
 問題点を補う工夫⇒ なし
- 高橋さん：資料との関連 ⇒資料2
 <B案> 経験や予想 ⇒いろいろなところであいさつをするともっと声よくなる
 問題点を補う工夫⇒ 当番の決め方を工夫する
- 渡辺さん：資料との関連 ⇒ なし
 <A案> 経験したこと ⇒ 人数が増えてこむと、あいさつどころではない
 問題点を補う工夫⇒ なし

T 発言の仕方でもよいと思うところを確認してみましょう。

- ・ 自分の立場を言ってから理由を言っているところがよいと思います。
- ・ みんな「はっきりした声であいさつをするひとを多くする」という話し合いのねらいに沿って話をしています。
- ・ 理由に自分の経験や予想などを入れていると、分かりやすいです。
- ・ 理由が資料と結びついているから、分かりやすいです。

A案・B案それぞれの「よさ」と「問題点」をとらえる

T A・Bそれぞれの案には「よさ」と「問題点」があるようですね。話し合いの様子②と関係付けてそれぞれの「よさ」と「問題点」をまとめましょう。

<「A案」について>

- ・ 名人カードをもらうことでやる気を出す人がたくさんいる。(田中さん)
- ・ 名人カードをもらうために、はっきりした声であいさつをするようになる。(田中さん)

<「B案」について>

- ・ 全校から協力してもらえば、いろいろな場所であいさつ運動ができる。(高橋さん)
- ・ これまであまりいいあいさつができていない人も、しっかりとあいさつをするようになる。(高橋さん)

- ・ 資料一つ一つを読み取った後、それぞれの資料から分かった事実を関係付ける。

- ・ 話し合いの様子②に色別のサイドラインを引き、内容をとらえさせる。

- ア 立場
- イ 資料との関連
- ウ 経験
- エ 問題点の解決策

- ・ それぞれの案が、話し合いの様子②のどの部分と関連しているのか、確認できるようにまとめる。

- ・ 立場の表明 ⇒ 「理由」の流れで発言していることを確認する。

- ・ それぞれの案には、問題点が指摘されていることを確認する。

- ・ 話し合いの様子②の(よさ)と、反映できていない事実(問題点)を表にまとめる。

<p><双方から考えられることについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どちらも、はっきりしたあいさつをする人がおおくなるように意見が出されています。 ・ どちらも、話し合いの様子②と関係付けて考えられています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いの様子②を基に、その発言が、どの事実を理由としているのかをつかむ。 ・ 左の表のようにまとめる。 								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A案</th> <th>B案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「あいさつ名人カード」を渡す</td> <td>全校児童もあいさつ当番をする</td> </tr> <tr> <td> <p>良さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名人カードをもらうことでやる気を出す人がたくさんいる。 ・ 名人カードをもらうために、はっきりした声であいさつをするようになる。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全校から協力してもらえば、いろいろな場所であいさつ運動ができる。 ・ これまであまりいいあいさつができていない人も、しっかりとあいさつをするようになる。 </td> </tr> <tr> <td> <p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ人ばかりが名人カードをもらって、カードをもらえない人が出る心配がある。 ・ 生活委員会がカードを渡すことに気をとられていると、あいさつをしている人を見のがしてしまう。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ はずかしいと思う人が当番をすると、あいさつを返す人の声も小さくなる。 ・ 当番の人数が多いとこんざつして、さわがしくなり、あいさつどころではなくなる。 </td> </tr> </tbody> </table>		A案	B案	「あいさつ名人カード」を渡す	全校児童もあいさつ当番をする	<p>良さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名人カードをもらうことでやる気を出す人がたくさんいる。 ・ 名人カードをもらうために、はっきりした声であいさつをするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校から協力してもらえば、いろいろな場所であいさつ運動ができる。 ・ これまであまりいいあいさつができていない人も、しっかりとあいさつをするようになる。 	<p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ人ばかりが名人カードをもらって、カードをもらえない人が出る心配がある。 ・ 生活委員会がカードを渡すことに気をとられていると、あいさつをしている人を見のがしてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ はずかしいと思う人が当番をすると、あいさつを返す人の声も小さくなる。 ・ 当番の人数が多いとこんざつして、さわがしくなり、あいさつどころではなくなる。
A案	B案									
「あいさつ名人カード」を渡す	全校児童もあいさつ当番をする									
<p>良さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名人カードをもらうことでやる気を出す人がたくさんいる。 ・ 名人カードをもらうために、はっきりした声であいさつをするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校から協力してもらえば、いろいろな場所であいさつ運動ができる。 ・ これまであまりいいあいさつができていない人も、しっかりとあいさつをするようになる。 									
<p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ人ばかりが名人カードをもらって、カードをもらえない人が出る心配がある。 ・ 生活委員会がカードを渡すことに気をとられていると、あいさつをしている人を見のがしてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ はずかしいと思う人が当番をすると、あいさつを返す人の声も小さくなる。 ・ 当番の人数が多いとこんざつして、さわがしくなり、あいさつどころではなくなる。 									

(2) 話し合い資料を基にして、説得力のある意見の書き方をとらえ、構成メモを作る

(2時間目)

<p>主な学習活動と教師の働きかけ</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 留意点 □評価 				
<p>T 問題点はどのような方法で解決できるか、話し合しましょう。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th><A案></th> <th><B案></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ カードをたくさん用意しておけばいいと思うよ。 ・ 期間中にもらえるカードの枚数を決めておけばいいと思うよ。 ・ あいさつする人とカードを渡す人に分けるといいと思うよ。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2～3人のグループでいっしょにあいさつすれば声も大きくなると思うよ。 ・ 一週間ごとにあいさつ当番を学年で交代していけばいいと思うよ。 </td> </tr> </tbody> </table>		<A案>	<B案>	<ul style="list-style-type: none"> ・ カードをたくさん用意しておけばいいと思うよ。 ・ 期間中にもらえるカードの枚数を決めておけばいいと思うよ。 ・ あいさつする人とカードを渡す人に分けるといいと思うよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2～3人のグループでいっしょにあいさつすれば声も大きくなると思うよ。 ・ 一週間ごとにあいさつ当番を学年で交代していけばいいと思うよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いの様子②を参考にしながら、改善策を考えさせる。 □意見や理由の述べ方をとらせることができたか。
<A案>	<B案>					
<ul style="list-style-type: none"> ・ カードをたくさん用意しておけばいいと思うよ。 ・ 期間中にもらえるカードの枚数を決めておけばいいと思うよ。 ・ あいさつする人とカードを渡す人に分けるといいと思うよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2～3人のグループでいっしょにあいさつすれば声も大きくなると思うよ。 ・ 一週間ごとにあいさつ当番を学年で交代していけばいいと思うよ。 					
<p>提示された構成を基に、構成メモを作成する。</p> <p>T 「始め」「中」「終わり」の三部構成の文章を書きます。「中」の部分にどの順番で理由を書くと説得力が増すかを考えて、構成メモを作りましょう。</p> <p><条件></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 理由は二つ以上書くこと。 ② 理由の一つ以上に、自分の経験や予想を入れること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一つ目の理由は、資料と関連させよう。二つ目は経験したことや予想、三つ目は問題点とその解決を書こう。 ③ 双括型で書くこと 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 考える時間を保障し、自己決定させる。 ・ 前時の学習をふり返り、効果的な意見の述べ方を確認する。 				

- 「このように」や「このような理由から」を使って立場を繰り返せばいいんだね。

【構成メモ】

終わり	中	始め
④ 「中」のまとめと立場の表明	③ 理由 ・問題点とその解決策	② 理由 ・資料と関連 ・経験したこと
		① 立場の表明

- 話し合いの様子②に出てきた理由も参考にさせ、関係付けて構成してもよいこととする。

- 文の型を双括型に意識させる。そのために、つなぎ言葉に着目させる。

自分の立場を明確にし、その理由を3つの視点から書き出すことができたか。

(3) 立場を明確にした意見文を書き、交流する (3時間目)

主な学習活動と教師の働きかけ

・留意点 評価

「構成メモ」を用いて意見文を書く。

T 「構成メモ」を使って、説得力のある意見文を書きましょう。

<条件> 340字以上書くこと。

立場と理由を明確にし、条件を満たした意見文を書くことができたか。

互いに意見文を読み合って、感想を交流する。

T 友達同士で文章を読み合い、交流しましょう。

ぼくはB案に賛成です。理由は二つあります。一つ目の理由は、話し合いの様子②にもあるように、全校から協力してもらえば、いろいろな場所であいさつ運動ができるからです。たしかに、B案にはほしくないと思う人が当番をする、あいさつを返す人の声も小さくなる心配もあります。しかし、それは二、三人のグループでいっしょにあいさつをすれば声も大きくなると思います。

二つ目の理由は、これまであいさつができていない人もしっかりとあいさつをするようになること考えられるからです。ぼくも、苦手なドッジボールにさわられてやっているうちに、上達したことがあります。あいさつも似ていると思います。

このようにB案は、はっきりした声であいさつをする人が多くなる案だと考えました。

ぼくはA案に賛成します。なぜなら、A案は資料3とも関係していて、やる気を出す人が多いと思うからです。しかし、A案には、同じ人ばかりがカードをもらい、カードをもらえない人が出る心配もあります。しかし、カードをたくさん用意したり、期間中にももらえる枚数を決めておくなどすれば、解決できると思います。

他にも、名人カードをもらうために、はっきりした声であいさつをするようになることが考えられます。わたしも、ハンカチ・ティッシュ調べのときには賞状をもらいたくてがんばったことがあります。

このような理由から、ぼくはA案の方がはっきりした声であいさつをする人が多くなると思います。

書くことが苦手な児童には、各段落の書き出しを示す。

- 理由に問題点の解決方法が書いてあって、説得力があるね。
- 解決方法があると、反対意見の人も納得して聞くことができるね。
- ぼくの「終わり」は「始め」の繰り返しになっているから、「話し合いのねらい」を意識して書き直すとよさそうだな。
- 「問題点」と「解決策」は②と③のどちらに入っても説得力があるな。

理由の書き方に着目して、互いの意見文を読み合うことができたか。

